

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年7月31日

事業所名 障害児通所支援事業所Ra:SeeSar

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	一人当たりの床面積の基準を大きく上回る	利用数増加に対応したベッドスペースの確保
	2 職員の配置数は適切である	9	0	介護福祉士を配置することで各支援場面での安全面に考慮した支援を実施	リハビリニーズに応じた理学療法士等の常勤雇用
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		玄関スロープの拡張工事
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	・業務改善提案制度の導入 ・5S活動推進WGの発足	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2	日々の取組の中で利用児、保護者様からご意見やアドバイスを頂戴しつつ、支援の質向上を図っている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	9		今回の評価を集計後、ホームページに掲載予定【2023年12月開所のため】
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9		早期の計画・実施に向け検討していく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	・OJT育成プログラムの作成 ・各種勉強会の開催 ・各種研修会へ参加	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	活動前には全スタッフで活動目的、個別目標、具体的な支援方法を共有している	役割分担の明確化
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・他事業所様の好事例を参考 ・活動内容の履歴管理	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	基本的にはリハビリ的支援は個別性を重視し、療育活動は集団活動として位置付けている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	毎朝ミーティングの実施	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	当日は実施困難のため、翌日ミーティングで振り返りの機会を確保している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	タブレット端末の導入により速やかに記録を行うことができる	タブレット端末の台数増加
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
関係機	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	9	0		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もかかわしい者が参画している	9	0		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	学校だけでなく、保護者様にも協力をいただいている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	3		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	6		

関 連 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	9		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	児童発達支援センターでのリハビリ見学実施	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		感染症の状況等を鑑みながら計画実施を図る
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	公式LINEを用いた連絡帳配信による活動の様子の可視化	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	相談をいつでも受け付けられるよう、事業所携帯電話や公式LINEを活用	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5		保護者同士の会（ランチ＆茶話会）の計画実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	機関紙「らっしー通信」を毎月発行	
	35	個人情報に十分注意している	9	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
非 常 時 等 の 対 応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	開所式、お餅つき会の実施	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		保護者様への周知不足の解消を図る
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年間の災害計画立案	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	アセスメント時に加え、クッキング活動前にも再度確認	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	上・下半期毎に症例検討会を開催	ヒヤリハット提出件数の増加を図る